

中国地方整備局総合評価審査委員会 第1部会(第4回)開催結果の概要

1. 日時：平成22年7月23日（金）16:00～18:00
2. 場所：合同庁舎2号館8階中西東会議室
3. 出席委員：第1部会 会長 米倉 亜州夫 広島大学名誉教授
 第1部会 委員 今岡 務 広島工業大学環境学部
 第1部会 委員 戸田 常一 広島大学大学院社会科学研究所
 第1部会 委員 福田 健吉 (株)日本政策投資銀行 中国支店長

4. 議事次第：

- (1) 審査対象工事の全体説明
 審査対象工事件数・・・全10件
 <件数の内訳>
 ・評価項目・加算点の審査（公告前審査・・・2件）

表1 【高度技術提案型】

工種	加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
一般土木	-	-	-	1	-	1
計	0	0	0	1	0	1

表2 【簡易型（従来方式）】

工種	施工体制評価点+加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
建築	0	1	-	-	-	1
計	0	1	0	0	0	1

- ・技術提案の審査（入札前審査・・・8件）

表3 【標準型（Ⅱ型）】（施工体制確認型）

工種	加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
一般土木	-	-	-	1	-	1
建築	-	-	-	1	-	1
電気設備	-	-	-	2	-	2
機械設備	-	-	-	1	-	1
暖冷房衛生設備	-	-	-	1	-	1
計	0	0	0	6	0	6

表4 【簡易型（従来方式）】（施工体制確認型）

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	30～	60～	70～	80～	90～	
建築	1	-	-	-	-	1
機械設備	-	1	-	-	-	1
計	1	1	0	0	0	2

- ・ 施工体制確認方 開札後整理案件・・・3件

表5 【標準型（I型）】（施工体制確認型）

工種	施工体制評価点＋加算点の合計					計
	50～	60～	70～	80～	90～	
建築	-	-	-	2	-	2
建築	-	-	-	1	-	1
計	0	0	0	3	-	3

(2) 審査対象業務の全体説明

- 1) 審査対象業務件数・・・全11件

<件数の内訳>

- ・ 評価項目・加算点の審査（公示前審査・・・6件）

表6 総合評価落札方式

工種	簡易公募型	
	簡易型	標準型
詳細設計	1	0
調査検討	0	1
計	1	1

表7 プロポーザル方式

工種	公募型	簡易公募型	標準型
実施設計	0	3	0
基本設計、 実施設計	0	0	1
計	0	3	1

- ・ 評価項目・加算点の審査（特定前審査・・・5件）

表8 総合評価落札方式

工種	簡易公募型	
	簡易型	標準型
調査検討	1	1
計	1	1

表9 プロポーザル方式

工種	公募型	簡易公募型	標準型
実施設計	0	2	0
実施設計	0	0	1
計	0	2	1

5. 主な意見の概要

（工事審査）

- ・ 1社しか応募かない工事があるがどのような理由が想定そうていされるか？
1社応札は、競争原理が働いていないと思う。競争参加者が増えるよう検討を。
→当該工事の同種工事や地域要件等で、複数の社が競争参加資格に該当しているのを確認して発注したところではあるが、エレベータの改修であったため、競争参加者が少なかったものと思われる。
今後、発注公告にあたっては、当該委員会の助言を頂きながら検討していきたい。
- ・ 高度技術提案型工事は、応募者が少ないのでは？
→今回の工事は、一部箇所の施工方法を求める工事であり、本体工（覆工等）の施工は従来のトンネルと同様なため、過去のトンネル工事に比べて、極端に競争参加者が少なくなる事はないと思われる。

（業務審査）

- ・ 最大で10者指名（または選定）できるにもかかわらず、全体的に参加表明者数が3～5者と少ないようである。業者が参加表明しやすいよう適切な工期を確保した、計画的な発注をしていただきたい。
→了解。

その他、評価手法及び評価に関する助言を頂く

日時：平成22年7月23日（金）16：00～
場所：合同庁舎2号館 8階 中西会議室

平成22年度 中国地方整備局総合評価審査委員会 第一部会(第4回)

議 事 次 第

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 事

【工事関係審査】

- 1) 審査対象工事の全体説明
- 2) 審査対象工事の個別説明

【業務関係審査】

- 3) 審査対象業務の全体説明
- 4) 審査対象業務の個別説明

4. 閉 会